

弟とけんかした…

2年2組で算数の研究授業がありました。

この日は「分けた大きさをあらわそう」という単元で、分数の第一歩といったところでした。先生から指導案が提出されていましたが、直前になって差し替えてほしいということでした。どうしたら子どもたちが楽しく、しかもよく理解できるだろうか？先生は直前まで考えていたようです。

「先生、昨日、弟とけんかしてしもた。ピザを買ってきて、ふたつに分けたけど、弟はすごく怒った。」と言って、紙で作ったピザを黒板にはりましたが、そのピザは真半分には切られていませんでした。「そら、そうや！」と子どもたち。「どうしたらええんやろ？」と先生。こんな感じで授業は始まりました。

丸い紙や四角い紙をピザに見立てて、一生懸命に説明する子どもたち。低学年の子どもたちには、こんな風に自分の手を使って、具体的な物を折ったり、切ったりする作業が大切です。そして、「同じ大きさに分けたひとつ分を、もとの大きさの二分の一と言って、 $1/2$ と書きます。」といったことを学習しました。「あ～、これで弟とけんかせんですむわ。」と言って先生がうれしそうに言うと、子どもたちもうれしそうにうなずいていました。

文を作る

1年4組で国語の研究授業がありました。この時間の目標は、「簡単な構成を考え、句読点を使ってつながりのある文を書く。」というものでした。

「じどう車くらべ」という単元があって、その続きの学習でした。「じどう車くらべ」には、例えば、「バスやじょうよう車は、人をのせてはこぶしごとをしています。そのために、ぎせきのところがひろくつくってあります。」のように、『そのために』という言葉で二つの文をつないだかたちがいくつか出てきます。今日は、ポンプ車のDVDや写真を見て、「ポンプ車は・・・しごとをしています。そのために、・・・こんなしくみがあります。」というかたちの文を作らせようというものでした。

一生懸命、手を挙げて、頑張って発表していました。『そのために』という言葉の意味やポンプとはどういうものかが、まだ十分にはわからないなかでの学習ですので、簡単にはいきませんでした。なんとか、「ポンプ車は水で火をけすしごとをしています。そのために、いきおいよく水を出すポンプがついています。」という文を作ることができました。

私たちは、今、何気なく文を作っていますが、こんな学習の積み重ねがあったんだということを改めて認識させられました。

早寝・早起き・朝ごはん+朝うんこ

今年は秋がなく、いきなり冬を迎えているように思います。急激な気温の低下にあわせるかのようにインフルエンザという言葉が耳に入ってくるようになりました。体調を崩さないよう、十分にご注意ください。手洗い、うがいも有効であると聞きます。2学期終了まであとわずか。元気に登校できるようよろしく願いいたします。